

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	54	-	事業名	社会福祉事業	担当部課	福祉部福祉課
------	----	---	-----	--------	------	--------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	6	地域で支え合う福祉の仕組みをつくる	款	3	民生費
		施策の進め方	-		項	1	社会福祉費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	1	社会福祉総務費
		政策分類	5	障がい者でも要介護でも認知症でも大丈夫	大事業	3	社会福祉事業
	その他(関係法令、要綱等)		戦没者追悼式実施要領				
事業開始の背景、経緯等		先の大戦において散華された戦没者の霊に対し哀悼の誠を捧げるため、市内在住の戦没者遺族を対象に、長久手市戦没者追悼式を実施。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 福祉課における総務全般。また、総合福祉システムの保守・委託業務。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 福祉課における総務事務全般					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 嘱託職員等を雇用することにより、窓口業務・システム入力作業を行い、職員の事務軽減を図る。					
	事業を構成する事務事業	① 社会福祉事務事業	改善・見直し	④			
	② 戦没者追悼事業	改善・見直し	⑤				
	③ 人権啓発活動地方委託事業	休・廃止	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		13,940	12,551	14,596
決算					11,780	10,267	14,768	
人件費(B)	千円	決算		-	10,924	15,254		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		-	21,191	30,022		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A システム委託数	件	目標	3	3	3	3	3
			実績	3	3	3	3	
	B 遺族会員の参加率	%	目標	66.7	69.0	69.9	63.1	75.9
実績			69.0	69.9	63.1	75.9		
C		目標						
		実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A システムの委託数で事務効率化の状況が判断できる。

B 戦没者追悼式への遺族会員の参加率前年度実績以上(関心度が判断できる。)

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) マイナンバー制度の導入等、必要とされるシステム改修が毎年のように発生している。 戦没者追悼式を平和祈念事業と一体的に実施する自治体がある(小牧市、東郷町)
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 必要なシステムを導入して対応できている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 平和祈念事業との一体的実施を検討する必要がある。(戦没者追悼式)

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) システム導入で簡素化される業務の見直しを実施する(社会福祉事務事業) 平和祈念事業と連携した事業展開を検討する(戦没者追悼式)
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平和祈念式典について、幅広い年代層の市民が参加するものとして周知し、定着させる。(平成35年度頃までに)

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		社会福祉事業									
番号	①	事務事業名	社会福祉事務事業	款	3	項	1	目	1	大事業	3	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度			-			終了（予定）年度			-			

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 障害者に対する手当や福祉サービスの提供を正確且つ円滑に推進する
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 嘱託職員を雇用し専門的に取り組む業務及び団体事務を任せ、システム導入で効率的な事務を推進する。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算		13,309 11,228	11,928 9,695	12,822 13,030	18,132
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 一般事務嘱託員報酬						1,862	千円
② 一般事務賃金						4,919	千円
③ 総合福祉システム保守委託						1,243	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
嘱託職員雇用人数	人	目標	1	0	1	1	2
		実績	1	0	1	1	
システム委託数	件	目標	3	3	3	3	3
		実績	3	3	3	3	

<備考：活動の概要（当該事業年度）>  
嘱託員を1名、臨職を7名採用し、団体事務や窓口や電話の対応、簡単な入力作業等に当たった。福祉システムを導入し、資料等に必要な統計等の作業時間短縮を図った。

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

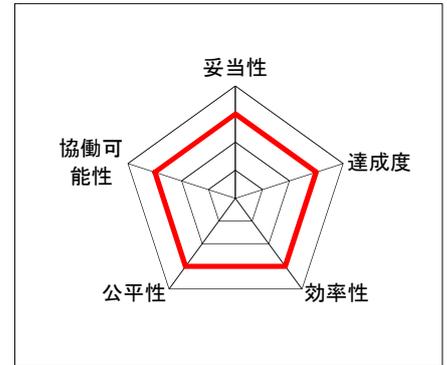
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) マイナンバー制度の導入等、必要とされるシステム改修が毎年のように発生している。
---

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント> 嘱託員、臨時的任用職員の雇用やシステム導入により事務の効率化を図る。 システム導入で簡素化される業務の見直しを実施する。
(何をどのような状態に改善したのか) システム導入により業務を簡素化した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 継続的に取り組む団体事務については、基本的に異動のない嘱託職員に担当させることで安定した事務が行える。
--

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) システム導入で簡素化される業務が検討されていない。
---

## 7. 今後の方向性

### 改善・見直し

【コメント】 (改善の方法、今後の具体的展開など) システム導入で簡素化される業務の見直しを実施する。
---

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		社会福祉事業										
番号	②	事務事業名	戦没者追悼事業		款	3	項	1	目	1	大事業	3	中事業	3
事務事業の期間	事務事業開始年度		-		終了（予定）年度	-								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	先の大戦において犠牲となった戦没者の霊に対し哀悼の誠を捧げるため、市内在住の戦没者遺族を対象に年に1回長久手市戦没者追悼式を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	戦没者の霊を追悼し、戦争の悲惨さ平和の尊さを後世に伝えていく。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算		631 552	623 572	623 564	623
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 追悼式壇設置委託						389	千円
② 消耗品費						167	千円
③ クリーニング手数料						5	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
遺族会員の参加率	%	目標	66.7	69.0	69.9	63.1	75.9
		実績	69.0	69.9	63.1	75.9	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
実施日及び場所：平成29年10月13日 文化の家風のホール							
主な内容：参加者全員による献花							
遺族会参加者数：158人中120人（来賓を含めた全参加者数 175人）							
参加記念品：ミニタオル（来賓）							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

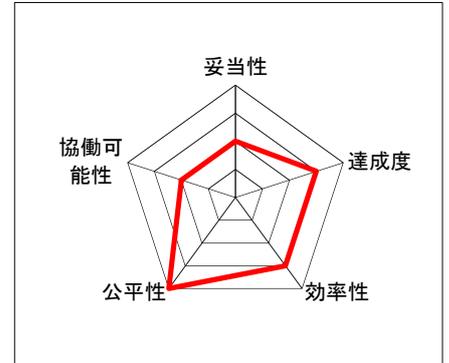
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
戦後70年以上経過して戦没者遺族の高齢化が進み、出席対象者の数が年々減っている。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
長久手市平和推進委員会と連携して実施することが必要。
(何をどのような状態に改善したのか)
平成30年度は平和祈念式典としての開催を目標とし、行政課と協同で式典の内容について検討し実施予定。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	3
公平性	4
協働可能性	2



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
遺族会と連携して式を開催し、戦争の悲惨さ平和の尊さを認識している。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
長久手市平和推進委員会との連携が十分図られていない。

## 7. 今後の方向性

**改善・見直し**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
現状の式典には若い世代の参加がなく、年々参加者層が高齢化している。幅広い年齢層に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていくため、平和祈念式典として新しい内容の式典を開催することが必要。遺族会、行政課、長久手市平和推進委員会と連携をして実施内容を検討し、実施する。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		社会福祉事業									
番号	③	事務事業名	人権啓発活動地方委託事業	款	3	項	1	目	1	大事業	3	中事業	6
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成29年度	終了（予定）年度	平成29年度								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 県から委託され、人権の啓発を目的として、人権の花運動や講演会、その他啓発活動を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の人権に対する理解が深まる。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算				1,151 1,174	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① 消耗品（花、啓発物品）						1,108	千円
② 講演会講師報償金						50	千円
③ 講演会手話通訳報償金						12	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
アンケート理解度	%	目標				80	
		実績				94	
アンケート満足度	%	目標				80	
		実績				94	
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
5月から2月にかけて人権の花運動を市が洞小学校で実施 12月1日に人権講演会を文化の家森のホールで実施 啓発活動として福祉の家で啓発物品を配布							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

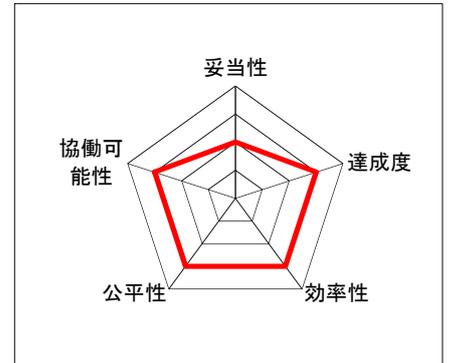
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、外国人や障がい者の人権等の意識の向上が望まれている。

## 5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
—

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)  
人権講演会で実施したアンケートの回答のうち、人権に対する理解度が大変深まった、おおむね深まったという回答が94%と高い数値であった。ほか、満足度も94%と高い数値であった。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)  
講演会を平日の日中に実施したため、参加人数が少なかった。

## 7. 今後の方向性

**休・廃止**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  
県内市町村が持ち回りで県から受託しているため、平成30年度以降の実施予定は無し。